

一般社団法人電動車両用電力供給システム協議会 (EVPOSSA)

2022 年度事業計画書

2022 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 3 月 31 日

1. まえがき

地球温暖化対策など世界的な環境への改善が議論されるなか、CO₂ 削減の手段のひとつである電気自動車の普及促進が年を追うごとに期待が高まってきております。日本においても 2021 年 6 月に策定された「カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」において、乗用車は、2035 年までに、新車販売で電動車 100%を実現することが目標とされており、かかる充電インフラにおいては公共用の急速充電器 3 万基を含む充電インフラ 15 万基を設置し、2030 年までにガソリン車並みの利便性を実現することが目標となっております。さらなる普通充電インフラの普及整備が望まれるところとなって参りました。

また、移動時間の活用を革新する取り組みとして、車内が「動く居住・サービス空間」となり、車内空間や移動時間の有効活用に加えて、「動く蓄電池」を社会実装する取り組みとして、電動車を蓄電池として活用することにより、平時にはスマートシティを高度化し、災害時にはレジリエンスを向上させる、といった活用が期待されており、普通充電器・充放電器が果たす役割も次第に高まってくるものと思われまます。

充電インフラの普及に向けての導入補助金制度については、2021 年度はクリーンエネルギー自動車導入促進補助金のなかで整備がなされました。今後も電動車両とセットでの社会的価値の向上の施策が展開されていくものと考えられ、新たな需要・価値の創出や施策の提言、といった普及策の展開が望まれる状況となっております。

EVPOSSA では、今後急速に増えると予測される電動車両に合わせ、2030 年において EV/PHEV と同等数以上の普通充電インフラの普及や充放電器の利用活性化を目指しております。これらの促進活動とかかわる協議を進め、関係省庁及び関係団体のご指導とご支援を頂きながら、会員の皆様とともに安全・安心な普通充電・充放電器の普及に向けて引き続き積極的に取り組んで参ります。

2. EVPOSSA の活動

2.1 当協議会のビジョン

EVPOSSA の活動の更なる充実に向けて、電動車両用電力供給システムにかかる視点から次に掲げるビジョンを基本方針として具体的成果の得られる活動を行います。

- (1) 移動したくなる社会づくり
- (2) コミュニケーションの活性化
- (3) 人にやさしい充電インフラの提供
- (4) 自然・災害に強い仕組みづくり

2.2 部会の活動計画

技術課題検討部会

活動内容

- (1) 電動自動車用充電システムガイドライン、検定基準の改定
- (2) 他団体との連携による技術課題および解決策の検討
- (3) 品質トラブル情報更新による品質改善情報共有
- (4) 発行済み技術資料の最新情報に即した内容への更新

普及促進部会

活動内容

- (1) 充電インフラ市場の拡大
- (2) ユーザーの利便性向上
- (3) 関係団体との連携
- (4) EVPOSSA の価値向上